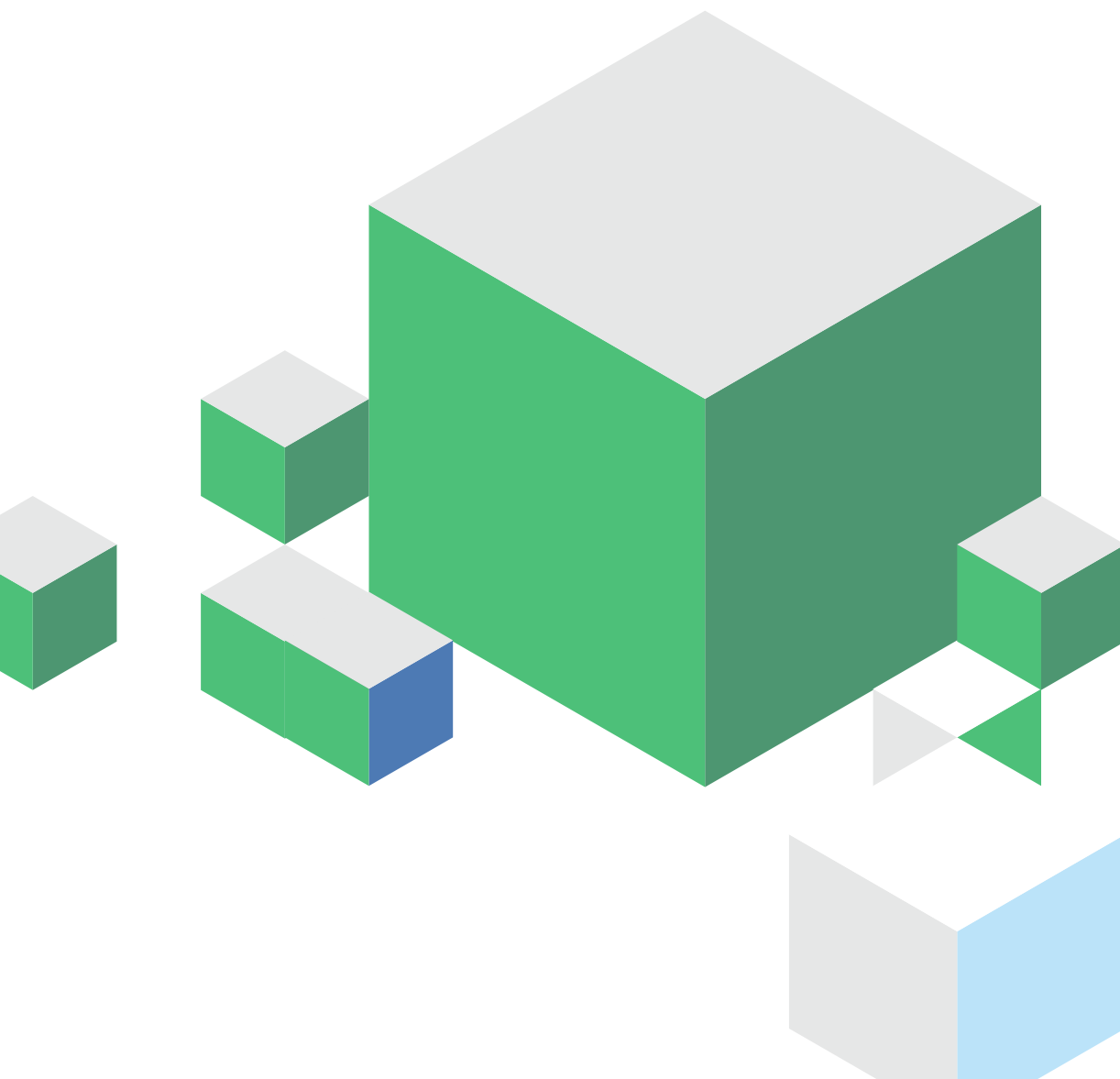


価値創造を支える基盤： マテリアリティ(重要課題)



CONTENTS

マテリアリティ(重要課題)	31
脱炭素社会への貢献	33
デジタル技術を活用した社会課題の解決に向けた取り組み	36
多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み	37
人事部担当役員メッセージ	37
地域のエネルギー供給事業者として健全な発展に向けた取り組み -	42
ガバナンス・コンプライアンスの推進	43
エネルギーの安定供給に向けた取り組み	44
地域社会への貢献	47

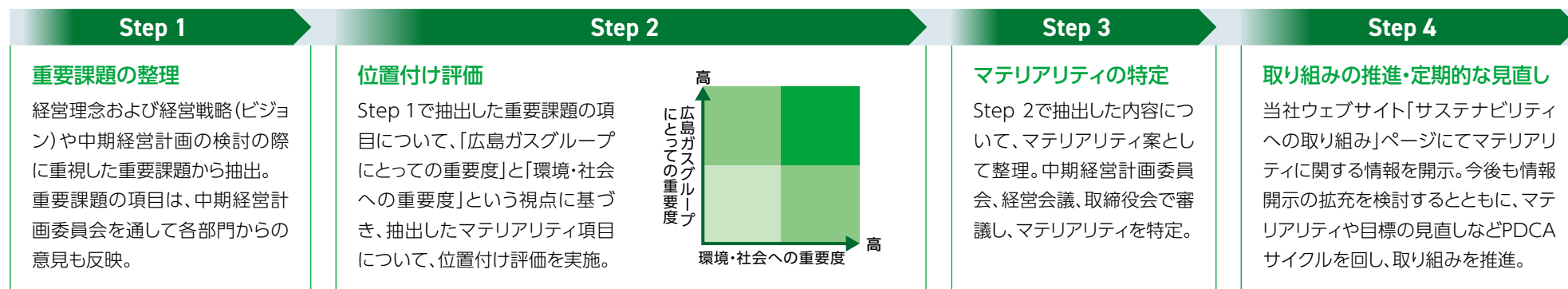


価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

マテリアリティ(重要課題)

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念などに基づき、持続可能な社会の実現に向け、マテリアリティ(重要課題)を特定しました。マテリアリティは2030年ビジョンや中期経営計画と連動しており、目標を設定して実績を管理することで、活動の改善や取り組みの向上につなげています。

マテリアリティ特定プロセス



マテリアリティに対する取り組み

環境目標

P54

マテリアリティ(重要課題)	指標	目標	達成年度	2025年度実績	関連するSDGs
脱炭素社会への貢献  P33	都市ガス販売量	750百万m ^{※1}	2030年度	478百万m ³	      
	LPガス販売量	120kt		86kt	
	電力販売量	350百万kWh(100,000件) ^{※2}		150百万kWh(6,252件)	
	CO ₂ 排出削減貢献量	30万t/年 ^{※3}		5.4万t	
	再生可能エネルギー電源取扱量	6万kW ^{※4}		4.7万kW	
	広島ガス事業所・製造所におけるCO ₂ 削減量	50%削減(2013年度比) ^{※5}		57%削減	
	カーボンニュートラル投資額 ^{※6}	着実な推進		11億円	
デジタル技術を活用した社会課題の解決  P36	DXによる業務の削減時間数 ^{※6}	累計54,000時間の削減	2030年度	累計24,369時間の削減	        

※1 LNG販売・CNG販売を含む
 ※2 ()は、需要件数

※3 当社およびお客さま先における2021年度からのCO₂排出削減貢献量
 ※4 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む(対象会社:広島ガスグループ)

※5 ※3のCO₂排出削減貢献量に含む
 ※6 対象会社:広島ガスグループ

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

マテリアリティ(重要課題)

マテリアリティに対する取り組み

環境目標

P54

マテリアリティ(重要課題)	指標	目標	達成年度	2025年度実績	関連するSDGs
多様な人材の活躍・働きがいの向上  P37	採用人数に占める女性比率※7	30%以上	目標水準の維持	57.1%	   
	キャリア採用の実施※7※8	3人以上/年	2026年度	4人	
	障がい者雇用率※7	2.7%		2.8%	
	女性の管理職昇格比率※7	30%以上	2030年度	17.6%	
	有給休暇取得率※7	70%以上	2027年度	81.1%	
	男性の育児休業等取得率※7 (配偶者出産時の特別休暇を含む)※9	100%	目標水準の維持	91.6%	
	・個々のキャリアプランを意識できる制度の確立 ・キャリアプランに合わせた教育プログラムの充実	着実な推進		DX推進・女性活躍推進・異業種交流などの各種研修を実施	
地域のエネルギー供給事業者として健全な発展  P42	連結経常利益	70億円規模	2030年度	26億円	        
	事業構成比※10	都市ガス事業 :70% LPG事業 :20% その他事業 :10%		都市ガス事業 :77% LPG事業 :20% その他事業 : 3%	
ガバナンス・コンプライアンスの推進  P43	重大な法令違反件数※6	重大な法令違反件数0件/年の継続		0件	    
エネルギーの安定供給  P44	重大な事故件数※6	重大な事故件数0件/年		0件	    
	ガス導管の耐震化率	95%	2030年度	94.0%	
	LNG確保・安定供給維持に向けた対応の充実化	原料在庫不足0件/年の継続		0件	
地域社会への貢献  P47	社会貢献活動実績※11	着実な推進		19,600人	     

※6 対象会社：広島ガスグループ

※7 対象会社：広島ガス

※8 2024～2026年度の3年間で累計9人のキャリア採用目標

※9 配偶者出産時の特別休暇を含まない2025年度実績は83.3%

※10 売上高比率

※11 環境・社会貢献に関する啓発・PR活動の参加人数

Web

ウェブサイトにてマテリアリティの実績を開示しています。
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/sustainability/materiality.html>



価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

脱炭素社会への貢献



低炭素・脱炭素社会の実現に向け、ステークホルダーの皆さまと幅広く連携し、お客さま先や事業活動に伴う環境負荷の低減、地域への環境貢献を推進しています。

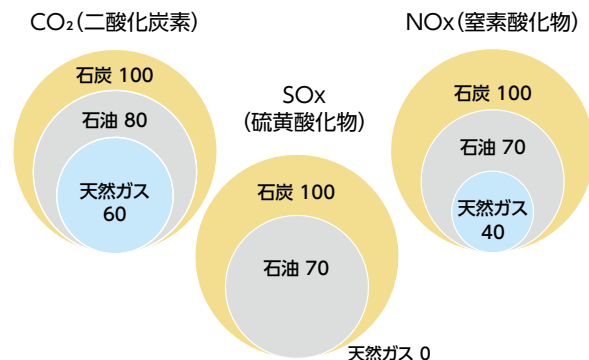
お客さま先でのCO₂削減への貢献

広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の第1段階として、天然ガスなどのガス体エネルギーおよび高効率機器の普及拡大を推進しています。また、カーボン・オフセット都市ガスやグリーン電力の販売など、CO₂削減に貢献する取り組みを推進しています。

天然ガスの環境性

天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少ない環境性に優れたクリーンなエネルギーです。広島ガスでは、天然ガス販売量の約5割を工業用のお客さまが占めていますが、重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、CO₂排出量を約25%削減することが可能です。

● 化石燃料の燃焼生成物などの発生量比較(石炭を100とした場合)



出典：資源エネルギー庁「エネルギー白書2013」を参考に広島ガスで作成

天然ガス高度利用の促進

夏季・冬季における電力のピークカットに大きな効果を発揮するガスヒートポンプ(GHP)や、ガスからお湯と電気をつくる家庭用燃料電池「エネファーム」など、高効率機器の普及拡大を通じて環境負荷の低減に貢献しています。

エネファームの導入促進によるCO₂削減事業

2023年4月から、一般住宅へのエネファームの導入促進によるCO₂削減事業を開始しました。家庭でエネファームを使用することによりCO₂排出量を削減されたお客さまから、環境価値を当社が譲り受けてJ-クレジットに換価し、その対価として、「広ガスポイント」をお客さまに付与しています。



※CO₂削減実績は(株)アイシンのサーバーを通じて集計します

カーボン・オフセット都市ガスの販売

2022年1月から受け入れを開始したカーボン・オフセットLNGや、J-クレジットを活用したカーボン・オフセット都市ガスを販売し、カーボンニュートラルに貢献しています。



カーボン・オフセットLNGのイメージ

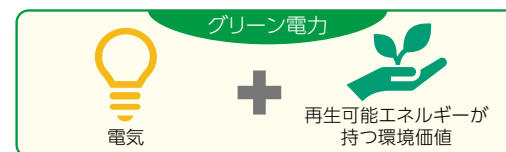
出典：(一社)日本ガス協会

メタネーション実証事業への参画

西部ガス(株)を代表事業者とする環境省事業「地域原料活用によるコスト低減を目指したメタネーション地産地消モデルの実証(2023年12月～2026年3月)」に、当社は共同実施者として参画しました。本実証事業は、地域資源である再生可能エネルギーの余剰電力や近隣工場などから発生する副生水素・未利用CO₂を有効活用したメタネーションにより、e-メタン製造コストの低減と環境価値提供をめざすものであり、当社は引き続き中国地域の地産地消モデルの検討を進めていきます。

グリーン電力の販売

2022年1月に小売電気事業登録を完了し、2024年1月から、主に家庭用のお客さまにグリーン電力を販売しています。グリーン電力の販売を通じて、お客さまと共にカーボンニュートラルの実現に貢献しています。



価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

脱炭素社会への貢献

再生可能エネルギーの普及拡大

太陽光発電、バイオマス発電、小水力発電、風力発電といった再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取り組みを推進し、カーボンニュートラルの実現に貢献しています。

広島ガスグループの
主な再生可能エネルギー電源

発電区分	名称	運転開始	定格出力
太陽光	東尾道太陽光発電所	2024年4月	850kW
	備後工場太陽光発電設備	2021年11月	150kW
	阿賀太陽光発電所	2013年10月	733kW
バイオマス	大野浦バイオマス発電所	2026年7月	1,990kW
	海田発電所	2021年4月	44,800kW*
小水力	広島ガス志和堀発電所	2021年6月	95kW
風力	北海道小形風力発電所	2025年7月～9月	153.6kW (19.2kW×8)
出力合計(2026年9月30日時点)			48,771.6kW

※定格出力112,000kW×出資比率0.5×バイオマス比率0.8

太陽光発電

呉市の旧阿賀工場跡地、備後工場内遊休地など、各事業所に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの導入拡大によるCO₂排出量の削減に努めています。また、尾道市内の当社遊休地に建設した東尾道太陽光発電所を活用し、本社

ビルなど8施設に自己託送を行っています。これにより、8施設で使用する電力の約40%を供給することが可能になり、年間約560tのCO₂を削減しています。



阿賀太陽光発電所



東尾道太陽光発電所

バイオマス発電

中国電力(株)と共同で設立した海田バイオマスパワー(株)の海田発電所は、広島県内の未利用木材や海外の木質系バイオマスなど、さまざまなバイオマス資源を活用しています。また、2026年7月から、廿日市市大野において、山口県産の林地残材を中心に利用した大野浦バイオマス発電所の営業運転を開始しました。



海田発電所



大野浦バイオマス発電所

小水力発電

広島ガス志和堀発電所は、県内の豊かな水資源を利用して発電を行う小水力発電所であり、発電時にCO₂を排出せず、昼夜年間を通じて発電することが可能です。2024年7月から設備更新工事に着手し、2025年5月から運転を再開しました。



水車



発電室建屋

風力発電

年間を通じて風況がよく風力発電に適した地域が多くある北海道において、小形風力発電事業に参入しました。2025年4月より8基の小形風力発電設備を順次建設し、2025年9月までに全基の営業運転を開始しました。

小形風力発電設備設置地点

- ・北海道幌泉郡えりも町 3基
- ・北海道宗谷郡猿払村 2基
- ・北海道石狩市厚田区嶺泊 1基
- ・北海道檜山郡江差町 1基
- ・北海道松前郡松前町 1基



小形風車

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

脱炭素社会への貢献

事業活動に伴うCO₂排出量削減

2030年度に向け、事業活動に伴うCO₂排出量を2013年度比で50%削減する目標に対し、2025年度は57%を達成しました。今後もさらなるCO₂排出量削減に向け、エネルギーの有効利用や省エネの推進に継続して取り組みます。

熱融通事業および冷熱供給事業によるCO₂排出量削減

廃棄物処理施設との熱融通事業

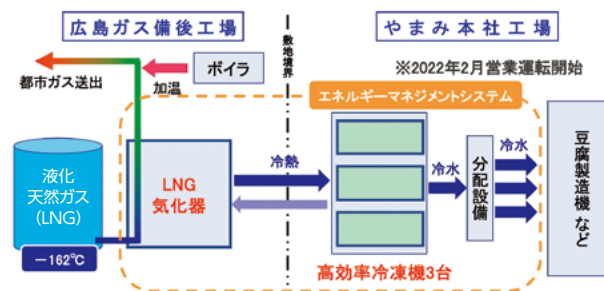
2019年4月より、廿日市工場の西側隣地に建設された廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)から廿日市工場への熱供給を継続しています。隣地からの未利用熱をLNGの気化に利用することで、熱源発生設備である温水ボイラの稼働を低減し、工場の省エネ・省CO₂を実現しています。



廿日市工場熱交換器

備後工場における冷熱供給事業

2022年2月より、(株)やまみへの冷熱供給を継続しています。当社備後工場と隣接するやまみ本社工場において、備後工場は、都市ガスを製造する過程のLNGの冷熱をやまみ本社工場へ供給することで、LNGの気化熱エネルギーの有効活用を図っています。やまみ本社工場では、既存の冷凍機をLNG冷熱の受け入れに対応した高効率冷凍機へ更新し、備後工場から受け入れたLNG冷熱を豆腐製造過程の冷却熱として有効活用することで、両者が連携して省エネ・省CO₂を実現しています。また、省エネ効果や異業種による事業連携の省エネ活動が評価され、2023年度省エネ大賞の「資源エネルギー庁長官賞(共同実施分野)」を受賞しました。



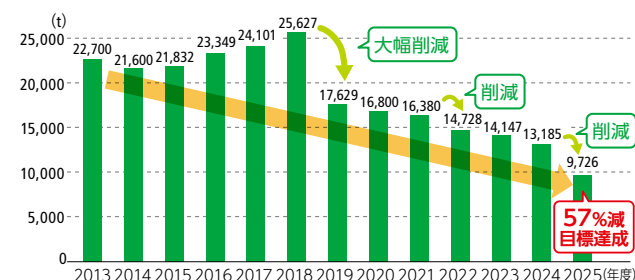
やまみ本社工場(写真奥)と備後工場(写真右手前)



省エネ大賞表彰式

CO₂排出量削減効果

廿日市工場での熱融通事業およびガスコージェネレーションシステムの最適運用、備後工場での冷熱供給事業などにより、2019年度以降のCO₂排出量は大きく減少しました。2025年度は、2013年度比57%削減となり、2030年度に向けた目標を達成しました。



※グラフ数値は広島ガス全事業所のCO₂排出量

住友重機械工業(株)とのLAES商用実証

住友重機械工業(株)とパートナーシップを組み、廿日市工場内に建設を進めてきたLAES商用実証プラントが2025年12月に商用運転を開始しました。LAES技術で電力を利用して圧縮・冷却して液化した空気をタンクに貯蔵し、必要に応じて再気化させ、膨張エネルギーを利用してタービン発電機により電気を供給します。空気を液化する際の冷却プロセスに、廿日市工場のLNG冷熱を活用し、充電効率の向上と都市ガス製造プロセスの省エネ化が可能となります。



LAES商用実証プラント

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

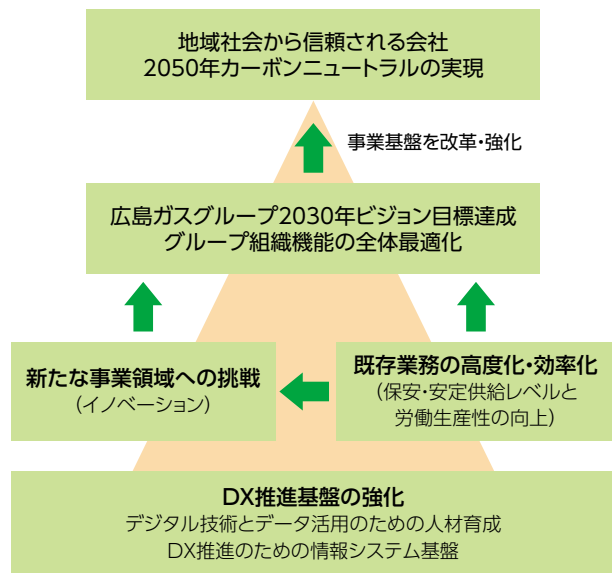
デジタル技術を活用した社会課題の解決に向けた取り組み



デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることにより、新たな価値創造と業務効率化を推進します。DXによる業務の高度化・効率化により、2030年度に広島ガスグループ全体で累計54,000時間の労働時間削減を目標にしています。2030年ビジョンの達成に向けた取り組みとも連動させながら、DXの取り組みを高度化していきます。

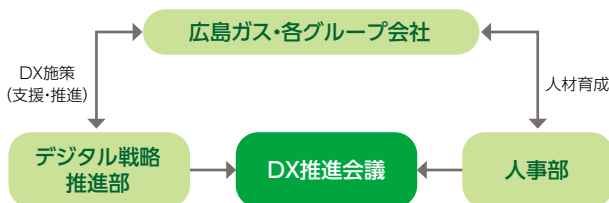
広島ガスグループにおけるDX

広島ガスグループでは、DXを「日々進化するデジタル技術とデータを活用し業務やビジネスモデルを変えていくこと」と定義しています。人材育成をはじめとした「DX推進体制の強化」を基盤に、「既存業務の高度化・効率化」と「新たな事業領域への挑戦」の2つをめざした取り組みを両輪で進めています。



DX推進体制

デジタル戦略推進部、人事部、経営企画部、各事業部・グループ会社ごとに配置したDX推進担当が連携を図りながら、2022年度に設置した「DX推進会議」を通じて、課題解決やニーズの実現に資するDXの取り組みを具体化しています。



DX推進体制の強化

全社的なDX人材の育成を目的として、役員・管理職向けに外部講師による「DX推進講演会」、全従業員を対象とした「DX推進セミナー」を実施しています。さらに、各事業部およびグループ会社におけるDX推進の中核を担うDX推進担当などを対象に、「DX推進者養成研修」を開催し、業務変革に必要なノウハウの習得を支援しています。

● 階層別の育成プログラム

対象	育成プログラム
役員・管理職	DX推進講演会
DX推進担当など	DX推進者養成研修
全従業員	DX推進セミナー

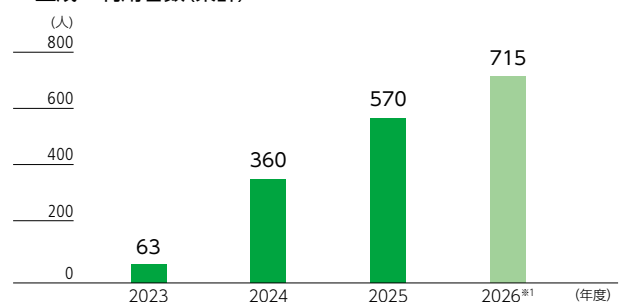
生成AIの活用

広島ガスグループにおける生成AI活用環境を整備し、2024年3月から「Microsoft 365 Copilot Chat」を活用しています。

業務における文章の作成、要約、論点整理や課題抽出、アイデア創出のための情報収集などに活用し、既存業務の効率化や生産性の向上を図っています。

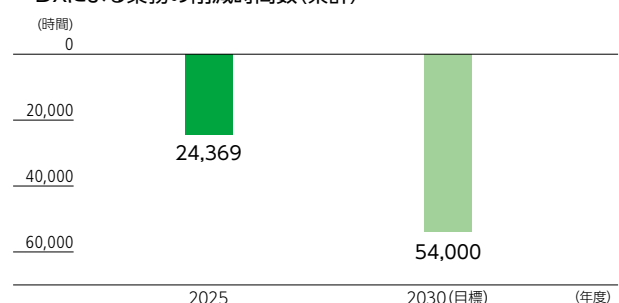


● 生成AI利用者数(累計)



*1 2026年6月30日現在

● DXによる業務の削減時間数(累計)*2



*2 2022年度からの累積削減時間

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み

人事部担当役員メッセージ



社員が能力を高め、
より活躍できる環境を整えることで
企業価値の向上につなげる

取締役 常務執行役員
経営企画部長
人事部、資源・海外業務部 担当

尾崎 浩一

「エンゲージメント向上」と
「DX人材の育成」に注力

広島ガスグループでは、社員一人ひとりの知識・スキル・経験・創造性などを企業の成長を支える重要な資産として捉えており、社員が能力を高め、より活躍できる環境を整えることで企業価値の向上につなげることをめざしています。

2026年度中期経営計画では、都市ガス・LPG事業における市場の拡大および付加価値創造による「深化」、電力事業の拡大および新たなイノベーションの「探索」、これらを具現化する自己変革としての経営基盤の「強化」の3つをポイントに取り組みを推進しています。

当社グループの持続的な成長を実現していくためには、

新たな事業領域への挑戦が不可欠であり、人的資本の価値向上を経営基盤の強化に向けた戦略の一つとして位置付けています。具体的には、経営戦略と人的資本の価値向上を連動させながら「エンゲージメント向上」と「DX人材の育成」の2つの施策に注力しています。

当社グループの持続的な成長を支えるのは、一人ひとりの挑戦による社員の成長、そして組織の成長です。そうした成長を加速させるためにはエンゲージメントの向上が極めて重要です。2025年度には「エンゲージメント意識調査」を実施しました。調査結果を今後のエンゲージメントの向上への取り組みにつなげます。

本報告書では「人材」と記載しておりますが、当社グルー

プにとって一番の財産は「人」・「人財」です。これからも「人財」たらしめるべく組織・個人の成長をめざしてまいります。

また、DX人材の育成を推進することで、既存業務の高度化・効率化やデジタル技術を活用した市場の拡大、サービス開発につなげていきたいと考えています。

● 経営基盤の「強化」(2026年度中期経営計画)

「人的資本^{*}の価値向上」と「深化と探索による業務改革」
を継続して実行
デジタル技術を活用した市場の拡大、サービス開発により、
新たな事業領域へ挑戦

新たな事業領域へ挑戦

深化と探索による業務改革

グループ組織機能の
全体最適化

業務機能の再整理により既存事業の拡大を図り、新たな事業領域に取り組む要員を創出

既存業務の
高度化・効率化

DX、業務プロセス改革(BPR)によりグループ全体での効率化を推進

人的資本の価値向上

エンゲージメント向上

DX人材育成

^{*}社員一人ひとりの知識・スキル・経験・創造性などを、企業の成長を支える重要な資産として捉えることを指す。当社グループでは、社員が自身の能力を高めるとともに、より活躍できる環境を整えることで、企業価値の向上につなげることをめざす

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み

人事部担当役員メッセージ

今この瞬間に全力を尽くし、 未来に向けて積極的に努力する人材を育成する

当社が求める人材像は、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い「人間力」と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い「現場力」を身に付け、主体的に考えて行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働できるバランス感覚のある人です。また、エネルギー業界を取り巻く外部環境が大きく変化する中、そうした変化を前向きに捉え、これからの事業の在り方を考えていくことのできる人が求められます。

組織の力を最大化するための基盤は「人」であり、こうした能力を持つ一人ひとりが「今この瞬間に全力を尽くし、未来に向けて積極的に努力する」という姿勢で業務に取り組むことで、当社グループはお客さまから選んでいただける企業になると考えます。

人材採用にあたっては、労働人口が減少局面に入りつつある中、新卒採用に加え、年間を通じたキャリア採用やリファラル採用にも取り組んでいます。また、退職者再雇用登録制度を導入するなど、これまでの経験やスキルを活かした即戦力の確保に努めています。

一方、多様な人材が活躍できる組織の実現に向け、採用人数に占める女性比率30%以上、2030年度における女性の管理職昇格比率30%を目標とした取り組みを進めています。労働環境の整備にも積極的に取り組んでおり、子育て支援に高い水準で取り組む企業として、男性の育児休業取得

促進などの取り組みが評価され、2026年3月に厚生労働大臣による特例認定「プラチナくるみん認定」を取得しました。

また、健康への投資は、役職員の活力や日々の生産性の向上など組織の活性化をもたらすことになり、業績や株価といった企業価値向上につながるとの考えのもと、2021年より健康経営にも取り組んでいます。

● グループ組織力の強化(2030年ビジョン)

人間力・現場力の育成

- (1)従業員がやりがいや誇りを持ち、多様で柔軟に働ける職場を構築し、生産性の高い働き方を実現
- (2)地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用
- (3)地域社会に選択され、共に発展する企業グループであり続ける

求める 人材像

謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材

姿勢	知識・技能・能力
● 今この瞬間に全力を尽くす人材 ● 未来に向けて積極的に努力する人材	①必要な知識と自主自立(自律)の精神を持ったプロ人材
	②お客さまをはじめとするステークホルダーの視点・立場で行動する人材
	③業務・行動に責任と自覚を持ち、内部統制・コンプライアンスの観点から、自ら判断して行動する人材
	④コミュニケーション能力および協調性を持ち、思いやりを持って行動する人材
	⑤地域社会に貢献する意識を持った人材
	⑥多面的な視点およびバランス感覚を持って行動する人材

一人ひとりが持つ個性、長所を最大限に 発揮できる環境づくりを進める

中期経営計画で掲げた「グループ組織機能の全体最適化」を実現するため、グループ内の人材交流を計画的に進めています。各事業分野で求められるスキルや能力を高め、専門性のある人員配置ができるよう、人材育成の充実に加えて、採用活動の強化にも取り組んでいます。

また、「地域社会に信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、バドミントン部やスキー部の活動を通じて地域社会と連携したスポーツ振興を推進しています。こうした活動は、総合エネルギーサービス事業者として地域社会との結び付きを深めるだけでなく、役職員の一体感を強化し、地域社会へ貢献する意識や価値観を醸成することにもつながっていると感じています。グループ全体でのボウリング大会や地元企業との広島東洋カープ合同応援イベントなども実施し、業務の枠を超えたコミュニケーションを積極的に図っています。

持続的な発展に向けて、当社グループでは、既存事業を磨き上げる「深化」と新たな事業領域への挑戦である「探索」に取り組んでいます。役職員が将来に対する不安や予想通りにいかないことを過度に恐れるのではなく、客観的に物事やデータを把握し、さらなる発展に挑戦する変革を進めています。そのための基盤として、多様性を尊重し、一人ひとりが持つ個性、長所を最大限に発揮できる環境づくりをこれからも進めていきます。

多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み

求める人材像を明確化し、経営戦略に連動した人材施策に取り組む中で、企業価値向上につながる人的資本経営を実践していきます。

人材マネジメント

社員一人ひとりの知識・スキル・経験・創造性などを、企業の成長を支える重要な資産として捉え、社員が自身の能力を高めるとともに、より活躍できる環境整備に取り組んでいます。

求める人材像

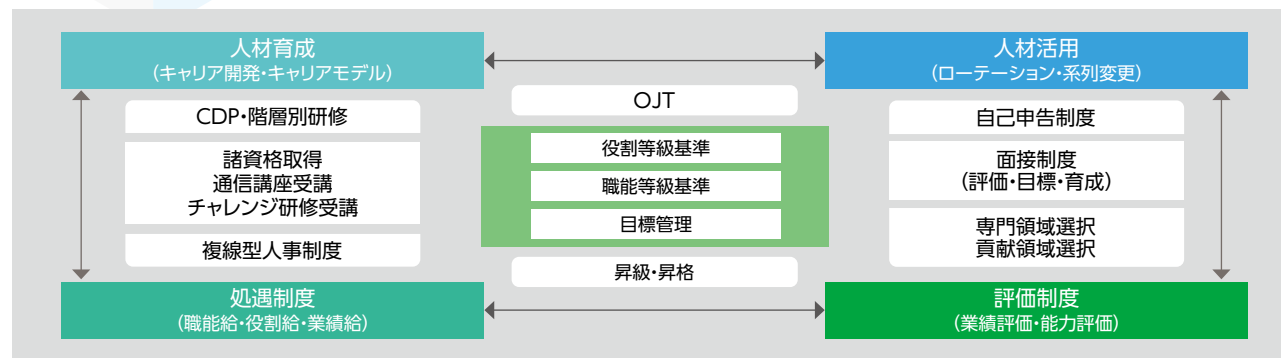
広島ガスが求める人材像は、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い「人間力」と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い「現場力」を身に付け、主体的に考え行動し、そしてさまざまな仲間と一体感を持って協働できるバランス感覚のある人材です。「人間力」と「現場力」の向上に向けた自律的なキャリア形成を支援しています。

人事処遇制度

2030年ビジョンの基本方針の一つとして「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

当社では、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評価者に対しては、評価者訓練を実施しています。

● 人事処遇の概念図



人材育成制度

業務に直結する専門技術の習得やさらなる技能向上をめざす研修に加え、従業員個人のキャリア開発に向けた研修や、自己啓発支援など、さまざまな人材育成の取り組みを行っています。

また、近年では、グループ戦略実現に不可欠となるDX人材育成にも注力しています。

● 研修体系図

研修体系図	新入社員 ← 管理職								
階層別研修(役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修	2年目研修		主任研修	係長研修	課長代理研修	新任管理職研修	管理職研修	
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	新入社員 フォロー研修	CDP3 (入社3年目研修)		CDP30 (30歳代研修)			CDP40 (40歳代研修)		CDP50 (50歳代研修)
チャレンジ研修(テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉 〈企画力〉〈折衝・調整力〉〈指導力〉〈決断力〉など								
ガス技能研修(社内資格研修など)	技能資格研修〈営業(機器関係など)〉〈供給(配管関係など)〉・ 技能向上研修(スキルアップ)〈営業〉〈供給〉・オーダーメイド研修など								
社外セミナー派遣(職務別のスキルアップなど)	各種部門内研修・各種社外講演会								
人権啓発推進	コンプライアンス研修会・人権講演会・ハラスメント防止研修会								
国内外留学		キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学							
自己啓発支援	通信講座受講支援・資格取得支援・マネジメント力養成講座								
その他	メンター研修・キャリア形成支援研修(女性活躍推進、セカンドキャリア)・DX推進研修など								

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み

多様な働き方、働きやすい職場環境の整備

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

働き方改革の取り組み

「働き方改革」については、①総労働時間の短縮、②多様な柔軟な働き方への環境整備、③多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)の3つを軸に取り組みを進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」を推進し、従業員がやりがいや働きがいを持ち、生産性の高い働き方を実現していきます。

①総労働時間の短縮

◎全社一斉定時退社日

残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

◎ゆっくり来よう・はよ帰ろうDAY

フレックスなどを活用した遅めの出社や早めの退社を促進する日を設定

②多様な柔軟な働き方への環境整備

◎フレックスタイム制度

社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

◎育児・介護短時間フレックス勤務制度

社員の育児・介護支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定し、仕事と育児・介護の両立を支援

◎テレワーク勤務制度

「在宅勤務」「サテライトオフィス勤務」「モバイル勤務」の3つを活用し、柔軟な働き方を推進

③多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)

◎採用人数に占める女性比率を30%以上とする

採用人数に占める女性比率 57.1%(2025年度)

◎女性の管理職への登用

(女性の管理職昇格比率を2030年度までに30%以上とする)

女性の管理職昇格比率 17.6%(2025年度)

仕事と育児・介護などの両立支援

従業員が生産性の高い働き方を実現できるよう、働きやすい職場環境づくりに努めており、仕事と育児・介護の両立を支援する制度を整備・拡充するなど、ワーク・ラ

●育児関連制度利用者の推移(単体)

区分	年度	2021	2022	2023	2024	2025
育児休業制度	女性利用者(人)	2	7	7	6	7
	男性利用者(人)	4	7	15	13	10
	利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100
育児短時間フレックス利用者(人)		21	20	19	22	16

イフ・バランスの推進に取り組んでいます。こうした取り組みは、従業員の活躍を支援するとともに、企業が社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

「プラチナくるみん認定」を取得

当社は、子育てサポート企業として、厚生労働大臣が認定する「プラチナくるみん認定」を2026年3月に取得しました。



人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続雇用制度の充実、積極的な障がい者雇用などに加えて、他企業経験者のキャリア採用にも力を入れ、多様な人材の確保に取り組んでいます。

また、結婚、出産、育児、介護、配偶者の転勤などのライフイベントを理由に退職した社員を再雇用する制度を設け、身に付けた知識やスキルを発揮することのできる環境を整備しています。

●雇用状況の推移(単体)

※()内の数値は女性
※障がい者雇用数は、障がい者雇用率の算定に用いる人数

区分	年度	2021	2022	2023	2024	2025
期末要員数(人)		681(155)	681(153)	686(162)	654(165)	657(167)
平均年齢(歳)		43.5(39.5)	43.9(39.7)	43.9(39.9)	44.2(40.1)	44.3(40.0)
平均勤続(年)		18.5(13.4)	18.7(13.9)	18.7(13.9)	18.9(14.7)	18.9(14.3)
新卒採用(人)		19(8)	18(10)	17(7)	14(6)	17(9)
キャリア採用(人)		0	0	0	2(0)	4(3)
定年退職(人)		11	10	8	13	13
【うち再雇用(人)】		【11】	【9】	【5】	【12】	【10】
障がい者雇用数(人)		20	17.5	15	19	20.5

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

多様な人材の活躍・働きがいの向上に向けた取り組み

労働安全衛生、人権の尊重

労働安全衛生

基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針(抜粋)

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

法令遵守

安全衛生意識の向上

安全文化の構築

健康づくりの推進

推進体制

本社地区の安全衛生委員会(担当役員参加)を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全衛生活動を推進しています。また、経営会議への安全衛生活動状況の定期報告などを通じて、活動内容の充実に努めています。

健康経営の推進

健康への投資を行うことは、役職員の活力や日々の生産性の向上など、組織の活性化をもたらすこととなり、結果的に業績や株価といった企業価値の向上につながるの考えのもと、2021年より健康経営に向けた取り組みをスタートしました。従業員の心と体の健康の保持増進に向けて、人事部と産業保健スタッフが連携して、取り組みを推進しています。

● 重点取り組み項目と評価項目

重点取り組み項目	評価項目
1.生活習慣の改善	喫煙率の低下 ウォーキング実施者の増加
2.ストレスチェック結果の向上	ワーク・エンゲージメントの向上
3.健康診断結果の改善	法定項目有所見率の低下

主な取り組み

● 喫煙率の低下

- ・構内喫煙場所の屋外化の推進、禁煙指導の実施
- ・毎月「22日」の禁煙デーにイントラネットで情報発信

● ウォーキング実施者の増加

- ・健康保険組合と連携したウォーキングキャンペーンの実施、健康情報の発信

● メンタルヘルス対策

- ・職場ミーティングを通じて、快適な職場環境や効率的な業務への改善を実施
- ・メンタルヘルスに関する各種研修(ラインによるケア、セルフケアなど)の充実
- ・ストレスチェック集団分析結果に関して産業医による説明会を実施

● その他

- ・保健指導の実施、健康意識向上のための健康情報発信、女性の健康に関する研修、健康保険組合と連携したオーラルケアセミナーなどの開催

人権の尊重

人権啓発活動方針

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力を発揮できる職場環境の実現をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

推進体制

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループ各社を含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」「ハラスメント相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

社内啓発・研修活動など

広島ガスグループ全体で「人権・コンプライアンスに関する意識調査」を毎年実施しており、その結果をもとに、「コンプライアンス研修会」を実施し、人権啓発意識の向上に努めています。また、「人権講演会」「ハラスメント防止研修会」の開催や、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

地域のエネルギー供給事業者として健全な発展に向けた取り組み



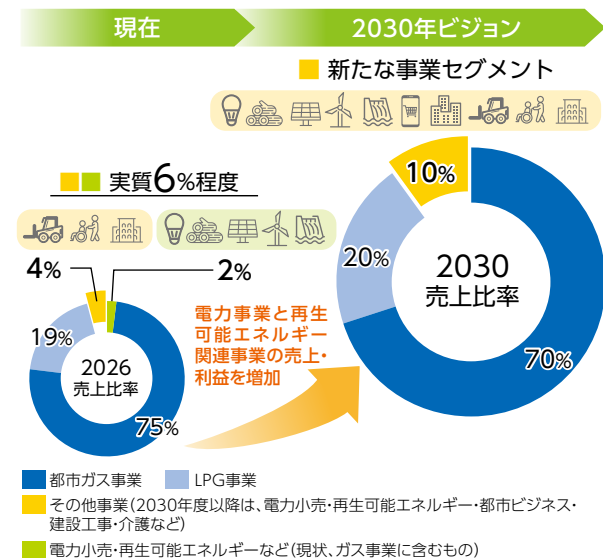
グループ経営基盤の強化を図り、強靱な企業グループの構築と持続的な発展をめざしています。収益力、資本効率の向上に資する事業ポートフォリオの見直しや経営資源の適切な配分を図り、2030年度に連結経常利益70億円規模、事業構成比は都市ガス事業70%、LPG事業20%、その他事業10%をめざします。

事業ポートフォリオ

収益力、資本効率の向上を図るため、2030年ビジョンに掲げる経営目標である連結経常利益を70億円規模へと成長させることをめざすとともに、事業ポートフォリオの再構築を進めています。

具体的には、電力事業と再生可能エネルギー関連事業の売上高・利益を増加させることによる新たな事業セグメントの確立と、既存事業であるガス事業およびLPG事業の利益拡大を両立させることで、企業価値向上と持続的な成長の実現をめざします。

● 電力事業の拡大と、新セグメントとしての確立・拡大をめざす



資本コストおよび株価を意識した経営に向けて

中期経営計画で掲げる各種施策を着実に実施していくことでROEの向上を図るとともに、成長領域への経営資源配分の強化、IR活動や株主還元施策の充実などを通じて、PERの向上に取り組み、PBRの改善を図っていきます。

● 経営指標(2030年度のめざす姿)

		2025年度実績	2030年度
収益性指標	ROA※1	1.6%	3.5%以上
	ROE※2	3.0%	8%以上
	EBITDA※3	91億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	54.2%	50%程度
株主還元	配当性向※4	41.0%	30%以上

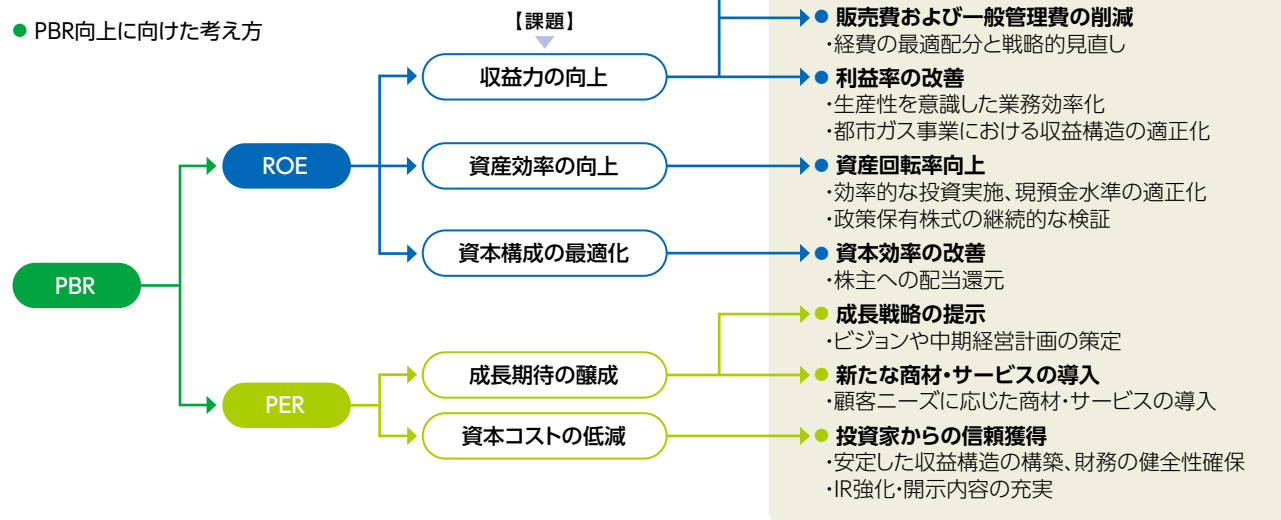
※1 ROA = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均総資産 × 100

※2 ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均自己資本 × 100

※3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※4 短期的な利益変動要因を除く

● PBR向上に向けた考え方



価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

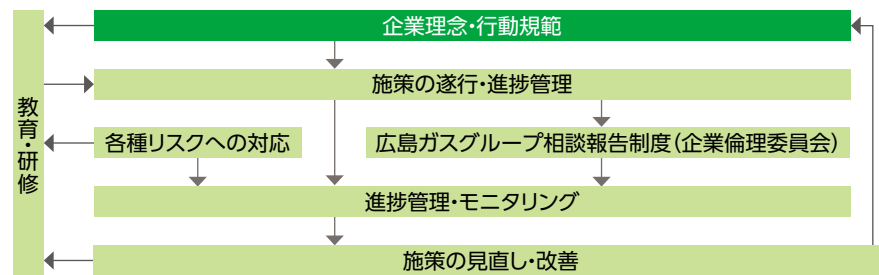
ガバナンス・コンプライアンスの推進



広島ガスグループの事業は、安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする極めて高い公共性と社会的責任を有しています。この社会的使命を遂行し、すべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、以下のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を整備しています。

リスクマネジメント・コンプライアンス体制

● リスクマネジメント・コンプライアンス体制の循環サイクル



行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範(各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」など)を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反などを許さない企業風土を醸成しています。

推進体制

当社およびグループ会社における業務の適正確保を目的として「内部統制推進委員会」を設置するとともに、各部門に

おいて業務上想定される各種リスクを適切に管理し、リスク管理統括部門においてリスクの一元的な管理を行っています。

また、社長および2名の社外弁護士で構成する「企業倫理委員会」を設置し、コンプライアンス施策の決定および制度の運用状況の把握と是正策について協議するとともに、当社グループの役員または従業員

および取引先の従業員(退職後1年以内の者を含む)が、直接、企業倫理委員会の委員などに相談・報告することができる「広島ガスグループ相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

各種リスクへの対応

経営に重要な影響を与えるリスクについては、定期的または必要に応じて、リスクの抽出・評価および対応策の策定を行い、経営会議において審議するとともに、取締役会に報告しています。

大規模な自然災害によるリスクへの対応

P27

グループ・ガバナンス

当社およびグループ会社の代表者で構成する「広島ガスグ

ループ代表者会議」を設置し、重要な経営政策などの協議を行い、迅速な方針展開と情報の共有化を図っています。グループ会社の業務執行については、執行の基準となる規程の整備などを通じてリスクを未然に防止するとともに、主要な連結対象会社の役員を親会社の役員が兼務することにより、各社の取締役会を通じて職務の執行状況を直接把握し監督しています。また、グループ会社の経営に関する重要な事項については、「グループマネジメント委員会」において事前審議を行い、その結果について経営会議に報告することとしています。さらに、コンプライアンス活動の実効性を高めるため、「広島ガスグループコンプライアンス協議会」を設置し、グループ会社におけるコンプライアンス体制の適切な整備・運用の推進を監督しています。

モニタリング体制

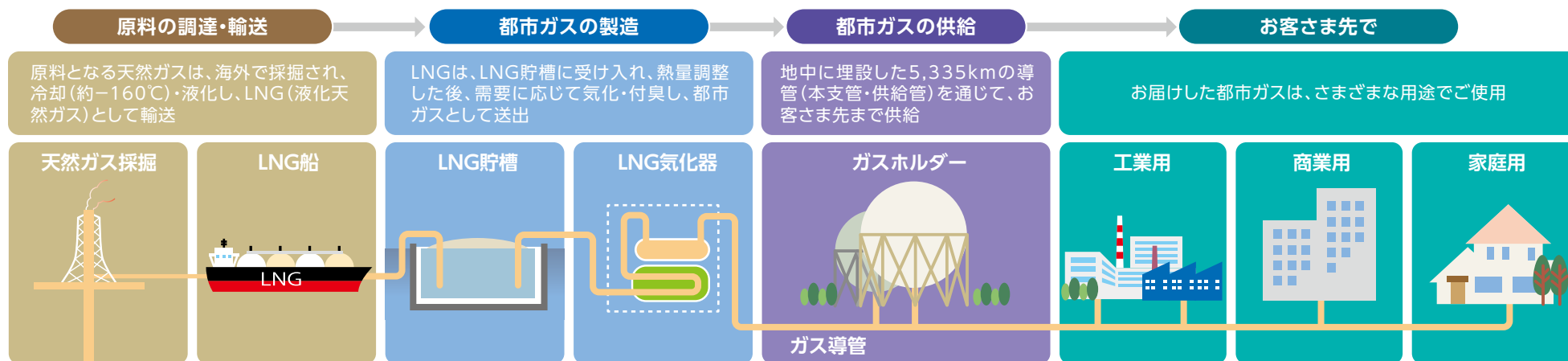
グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、年間監査計画に基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動(自己統制評価活動)への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

エネルギーの安定供給に向けた取り組み

多様なエネルギーを供給する事業者として、安心・安全なエネルギーを安定供給し続けることを何よりも重要な使命と考えています。地政学的リスクの高まりや、自然災害といった不測の事態に備え、中長期的な原料調達の安定化や、災害対策に関する取り組みを継続しています。

都市ガス事業フロー



LNG安定調達に向けた取り組み

LNG調達先の多様化

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、広島ガスにおいても都市ガスを安定して供給するため、LNGの調達先の多様化を図っています。2026年時点では、サハリン、大阪ガス(株)、マレーシアからLNG売買契約に基づき、年間約35万t(年度により変動)のLNGを調達しています。

また、国際情勢やエネルギー関連市場の情報を収集しつつ、同業他社および国内外のエネルギー関係者との協力体制を構築するなど、今後もLNGの安定調達に努めてまいります。

● 現在のLNG調達

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス(株)	約5万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2031年3月
合 計	約35万t	※年度により変動

中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力(株)と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

LNG輸送の効率化

LNG輸送効率を向上させ、輸送費低減を図るため、東京ガス(株)および東京エルエヌジータンカー(株)とLNG共同輸送契約(2020年度から2027年度までの8年間)を2020年2月に締結しています。

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

エネルギーの安定供給に向けた取り組み

お客さまの安心・安全に向けた取り組み

製造段階での保安

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNGの受け入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室

供給段階での保安

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客さまのもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整えています。

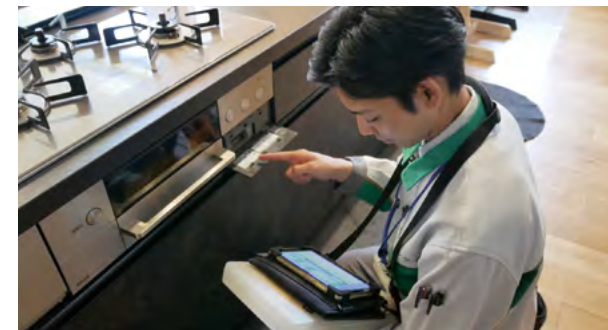
保安指令センターなどの供給保安機能は、大規模地震にも耐えうる「広島ガス防災センタービル」に集約しています。



保安指令センター

消費段階での保安

お客さまに安心・安全にガスをご使用いただくため、定期的にすべてのお客さま宅を訪問し、ガス漏えい検査やガス消費機器の給排気設備などの確認、安全使用の周知などを行う「ガス設備安全点検」を実施しています。また、当社では法令で定められた基準を上回る点検を行い、お客さま保安レベルの向上を図っています。さらに、ガスを安全に使用方法を記載したガイドブックの定期的な配布をはじめ、さまざまな機会を通じた保安周知活動を行っています。



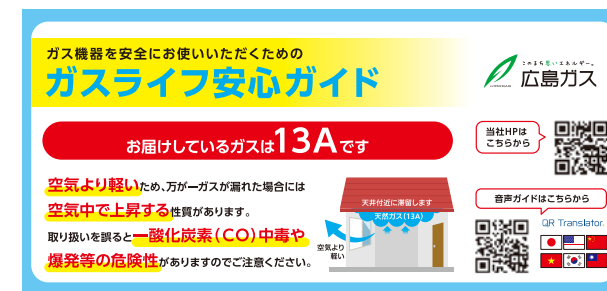
ガス設備安全点検



設備点検



保安車両



ガスライフ安心ガイド

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

エネルギーの安定供給に向けた取り組み

防災対策

地震などの災害時に備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」「緊急対策」「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

地震などによる被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまで、さまざまな対策を実施しています。



耐震性、耐腐食性に優れたポリエチレン(PE)管

緊急対策

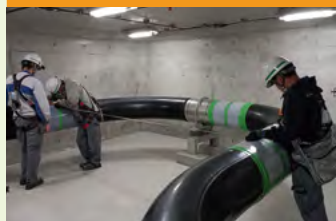
地震などが発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域(ブロック)ごとにガスの供給を停止します。お客さま宅では、ガスを使用中に震度5程度以上の地震を感知すると、マイコンメーターの安全装置が作動し、ガス供給を自動的に遮断します。広島ガスでは、一部の例外を除き、マイコンメーターを100%設置しています。

さらに、被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

● 地震防災対策の3本柱

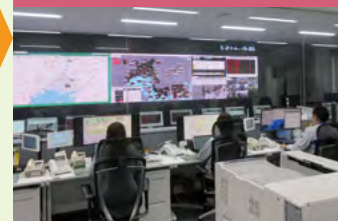
設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。



緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。



復旧対策

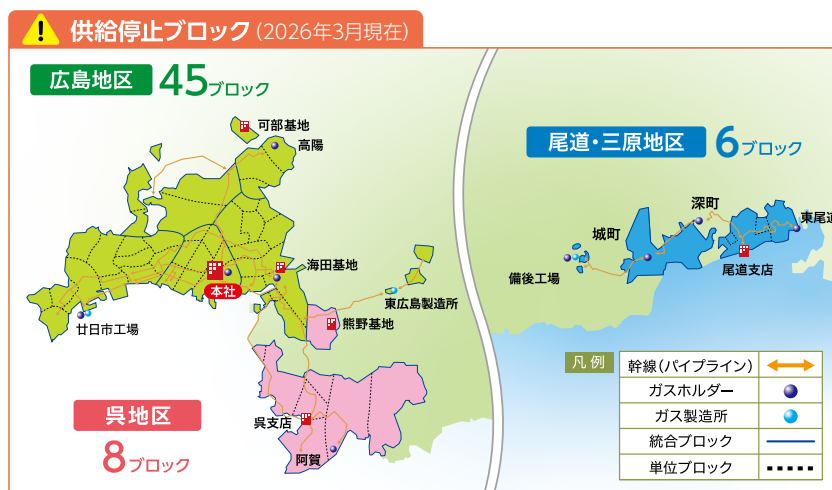
安全かつ速やかにガスの供給を再開します。



復旧対策

大規模な災害発生によりガスの供給が停止する場合などには、全国の都市ガス事業者は、(一社)日本ガス協会を通じて、復旧作業にあたる要員や資機材などを相互に協力しあう体制を確立しており、一日も早いガスの供給再開に向けて復旧作業に取り組みます。

また、病院などの社会的重要度の高い施設や、導管復旧に時間を要するお客さまに対しては、ガスの供給が再開するまで、移動式ガス発生設備を用いてガスを臨時供給します。



価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

地域社会への貢献

「芸術・文化振興」「地域振興」「スポーツ振興」「教育支援」の4分野を軸に、地域とのパートナーシップを推進し、さまざまな社会貢献活動を実施しています。

芸術・文化振興、地域振興

「広響ホットコンサート」の開催

広島を拠点に活躍する「広島交響楽団」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

「広響ホットコンサート このまち思いシンフォニー」と銘打って、毎年、著名な指揮者とソリストをお招きし、広島交響楽団の演奏とともに、ご来場いただいた1,000人を超える地域の皆さまに、音楽を通して心豊かなひとときをお届けしています。



あでやかな演奏



コンサートステージ

「このまち思い えがお食堂」を通じた
温かいコミュニティづくり

未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成と、子どもから大人まで誰もが笑顔で触れ合える地域のコミュニティの場として、こども食堂「このまち思い えがお食堂」(事務局:広島ガス)を、毎月1回、広島ガスショールーム ガストピアセンターにて開催しています。季節の食材を用いた食事の提供や、体験や学びを通して心を育てる「えがお企画」を行っています。



調理の様子



えがお企画「じゃんけん大会」

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を深めるとともに、両国間の交流推進を目的として、1996年から広島インドネシア協会の事務局を担っています。約200の法人・個人会員のご支援のもと、年間を通じてさまざまな活動を行っています。



インドネシア共和国独立記念祭

「ひろしまフラワーフェスティバル」への参画

「GASLAND」として展開するステージやブースなどの参画を通じ、地域活性化に貢献しています。ブースでは、SDGsや環境を意識したゲーム・工作の実施など、さまざまな趣向を凝らし、多くのお客さまにご来場いただいています。



エネルギータイムアタック

ステージ

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

地域社会への貢献

スポーツ振興

広島ガスバドミントン部

S/Jリーグ上位をめざして

広島ガスバドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームで、国内最高峰である「バドミントンS/Jリーグ」の上位をめざして、日々活動しています。バドミントン講習会での指導など、地域貢献活動を通じてスポーツの魅力を伝える取り組みも行っています。



S/Jリーグ



バドミントン講習会

広島ガススキー部

地域貢献活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、現役生活28年間にわたり第一線で活躍してきました。また、ひろしま観光大使としても活動し、広島県内ではオリンピックを通しての成長や自分らしく生きるために大切にしていることを伝える出張授業「未来を拓く教室」、子ども用スノーボード貸出企画を実施するなど、地域貢献活動にも力を入れています。



竹内智香選手



スノーボード貸与式

地域スポーツ支援

広島ガススポンサードゲームの開催

スポーツ振興を通じた地域活性化をめざし、地元広島を代表するプロスポーツチームである「広島東洋カープ」と「サンフレッチェ広島」のスポンサードゲームを毎年開催しています。広島ガスWeb会員の皆さまを抽選でご招待し、当社役職員と共にスタジアムで声援を送りました。



広島東洋カープスポンサードゲーム(2025年7月)



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2025年8月)

価値創造を支える基盤：マテリアリティ(重要課題)

地域社会への貢献

教育支援(次世代教育への取り組み)

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、エネルギー・環境教育、防災教育、食育、科学教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。主に小・中学生を対象にさまざまな次世代教育プログラムを

行っています。状況に応じ、サイエンスショーや防災教室の授業内容を収録したDVDの配布や、エネルギー・環境教育に関する教材のご紹介を行うなど、より多くのニーズにお応えできるよう努めています。また、ジュニア層のバドミントンクラブチームを対象としたバドミントンスクールも行っています。



次世代教育プログラムパンフレット



サイエンスショーのDVD

広島ガス防災教室のDVD

出張授業

エネルギー・環境教育

サイエンスショー【小学生・中学生対象】

冷熱・燃焼実験や燃料電池の実験を通じて、天然ガスの特性、エネルギーや環境保全の重要性などを分かりやすく伝え、科学の楽しさ・面白さを体験いただく場を提供するとともに、SDGsへの取り組みについても紹介しています。



サイエンスショー

出張授業

防災教室

広島ガス防災教室【小学生・中学生対象】

もしもの災害時に備えて、ライフラインが使えない暮らしを考え、対処法や備えの大切さを学びます。当社単独の防災教室のほか、広島市水道局・中国電力ネットワーク(株)・NTT西日本(株)との4者合同で「ライフライン防災教室」も開催しています。



ライフライン防災教室

出張授業

エネルギー・環境教育

技術研究所 理科授業【小学生・中学生対象】

技術研究所の社員が、天然ガスや燃料電池の実験を通じて、「エネルギーと環境」について分かりやすくお伝えしています。



技術研究所 理科授業

出張授業

食育

エコ・クッキング※教室【小学生・中学生対象】

調理実習や講義を通して、食べ物やエネルギーを大切に使うことを学び、無駄のない調理の工夫などを通じて日々の生活と環境やSDGsとのつながりについて学びます。

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です。



エコ・クッキング実習

クラブチームサポート

バドミントンスクール

クラブチーム(バドミントン)サポート

【小学生・中学生対象】

競技の楽しさをお伝えするとともに、ジュニア層(小学生・中学生)のレベルアップに寄与できるよう、クラブチームを対象としたサポートを行っています。

